

令和8年度 一般財団法人銚子市医療公社  
年度事業計画

令和8年2月

一般財団法人銚子市医療公社

## 目次

はじめに

I	年度事業計画の期間	1
II	地域住民に提供するサービスの質の向上に向けた施策	1
1	地域の特性を考慮した医療サービスの向上	1
(1)	診療体制の整備	
(2)	診療施設及び医療機器の計画的な整備及び更新	
(3)	救急医療への貢献	
(4)	健診・予防事業の充実	
(5)	在宅事業の展開	
(6)	地域連携の推進	
2	医療水準の向上	2
(1)	医療職の人材確保	
(2)	医療職の医療技術の向上	
3	良質な医療の提供	3
(1)	安全対策の徹底	
(2)	信頼される医療の実践	
(3)	法令等の遵守	
(4)	適正な情報管理と情報公開	
(5)	患者サービスの向上	
III	業務運営の適正化及び効率化に向けた施策	4
1	適正な業務運営	4
	共通の目標に向けた銚子市との協同体制づくり	
2	効率的かつ効果的な業務運営	4
(1)	運営方針の徹底	
(2)	効率的な人員配置	
(3)	事務職員の職務能力向上	
(4)	診療施設及び医療機器の計画的な整備	
(5)	収入確保と支出の削減	
IV	収支予算	6

## はじめに

一般財団法人 銚子市医療公社（以下「医療公社」という。）は、平成27年4月から10年間銚子市立病院（以下「市立病院」という。）の指定管理者として市立病院の運営を担ってきましたが、令和7年4月1日から再び令和17年3月31日まで運営を担うこととなりました。

2度目の指定管理期間の初年度となった令和7年度は、引き続き感染防止対策を講じながら患者様の安全と安心の確保を図るとともに、良質な医療の提供に努めてまいりました。

令和7年6月には、4A病棟の再整備とともに、一般病床の稼働病床数を60床に増床することで2病棟体制とし、併せて6人床の病室を4人床に変更するなど、入院環境や職員の労働環境の改善を図りました。また、同時に療養病床の稼働病床数を療養病棟37床（1床の減）、回復期リハビリテーション病棟23床（3床の増）としました。

経営に関しては、材料費・給与費・委託費などの医業費用の増加が、医業収益の増加を上回る非常に厳しい状況であることから、銚子市立病院経営会議を設置し、今後の病院経営のあり方を検討してまいりました。経営会議の検討を踏まえ銚子市と協議した結果、令和8年度から消化器外科を休止し、経営資源を集約させることとしました。

「市民が安心して暮らせる地域づくりに寄与する」という基本理念のもと、市立病院に求められる役割を十分に果たすため、良質な医療の提供とともに、限られた経営資源を有効に活用できるよう継続して経営改善に向けた取組を進めてまいります。

## I 年度事業計画の期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日までとする。

## II 地域住民に提供するサービスの質の向上に向けた施策

### 1 地域の特性を考慮した医療サービスの向上

#### (1) 診療体制の整備

##### ① 診療科目

内科、外科、脳神経外科、整形外科、乳腺外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科を標榜します。

##### ② 病床数と病棟構成

病床数 120床

病棟構成 一般病棟60床、療養病棟37床、回復期リハビリテーション病棟23床

香取海匠保健医療圏における必要性を考慮した回復期リハビリテーション病棟の開設により、当院での手術後の患者や他の医療機関で急性期の治療を終えた患者の受入れを行い、自宅や施設等へ早く戻れるようリハビリを実施します。

また、令和7年6月1日から一般病棟の入院環境の改善を図るため、6人床を4人床に変更するとともに、稼働病床を60床に増床し、2病棟体制へ移行しています。

##### ③ 外来診療時間

午前9時から正午まで及び午後1時から午後4時30分までとします。

## (2) 診療施設及び医療機器の計画的な整備及び更新

医療機器等購入検討委員会（平成27年度設置）において、診療施設や医療機器の整備及び更新について、その必要性及び費用対効果を十分に検証します。

## (3) 救急医療への貢献

令和2年4月に救急医療機関の指定を受け、24時間365日、救急搬送の受け入れに対応するとともに、引き続き救急患者の状態に応じた適切な救急医療の提供に努めます。

## (4) 健診・予防事業の充実

### ① 健診業務の推進

がん死亡率や生活習慣病の患者数の低減を図るため、人間ドックなどの健診業務を推進します。

### ② 市民公開講座の開催

市民の健康意識の向上を図るため、市民公開講座を適宜開催します。

## (5) 在宅事業の展開

地域包括ケアシステムの一翼を担うべく、診療体制、経営状況、他の医療機関の実施状況を考慮し、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーションその他の在宅医療にかかる事業の展開について検討します。

## (6) 地域連携の推進

### ① 銚子市医師会との連携

医師会活動に参加し、市内医療機関との関係づくりをより強固なものにするほか、市内のクリニック等が市立病院のMRIやCTの活用により診療の充実を図ることで、医療機器の有効活用と地域の医療機関との連携強化を図ります。

### ② 旭中央病院との連携

総合病院国保旭中央病院（以下「旭中央病院」という。）を中心とした香取海匠保健医療圏内の連携をより強固なものにするため、患者の紹介、逆紹介できる体制の強化に努めます。

また、旭中央病院を中心とした医療資源の有効活用を踏まえた診療体制の構築に努めていきます。

## 2 医療水準の向上

### (1) 医療職の人材確保

良質な医療の安定した提供、病棟及び外来運営の維持には、医師をはじめ、看護師及び医療技術者の確保は必須です。

① 医師の確保

将来を見据え、大学からの研修生の受け入れなど、地域医療の担い手育成に積極的に協力し、市立病院の魅力をアピールしていきます。併せて、医師紹介会社の活用など様々なチャンネルを駆使し、地域医療に貢献する医師の確保に努めていきます。

② 看護師及び医療技術者の確保

ア 千葉科学大学生の実習等を受け入れ、看護師及び医療技術者の確保につながる体制づくりを推進します。

イ 関東近県の看護師及び医療技術者の養成機関への訪問を継続し、各養成機関と人材確保に繋がる良好な関係の構築を図ります。

ウ 看護師及び医療技術者の紹介会社等が主催する合同就職説明会等に積極的に参加し、市立病院の周知を図り、人材の確保に努めます。

エ 銚子市が設けた市立病院勤務看護師等修学資金貸付制度について、銚子市と連携しながらその周知を図るとともに、貸付の対象に医療技術者を含め拡大することを銚子市と協議します。

オ 看護職員及び医療技術者が紹介会社等を介せず入職した場合、一定期間を経過した後に一時金を支給する等、市立病院への入職を検討してもらうための施策を実施します。

カ 「頑張る人が報われる」人事考課制度の導入について検討します。

<医師の人材確保>

区 分	令和7年度末人数	令和8年度末見込人数
医師数(常勤)	12人	10人

(2) 医療職の医療技術の向上

① 学会等への参加支援

学会又は研究会への参加を支援します。

② 資格等の取得支援

職員の上級資格並びに専門及び認定資格を取得する意欲の向上を図るため、その取得を支援する体制を整備します。

③ 教育又は研修を支援する体制の整備

職務上必要な自主研修等に参加する職員を支援する体制を整備します。

3 良質な医療の提供

(1) 安全対策の徹底

① チーム医療の推進

医療事故を未然に防ぎ、医療安全を担保するため、医療スタッフ間で情報を共有して診療を行うチーム医療を推進します。

② 委員会活動の推進

各委員会の活性化を図り、業務を行う上で直面する問題の原因の究明とその対策を講じ、業務改善に積極的に取り組みます。

(2) 信頼される医療の実践

検査及び治療の選択については、患者の意思を尊重したインフォームドコンセントを徹底するとともに、患者満足度調査を実施し、その結果を職員間で共有して業務改善に積極的に取り組みます。

(3) 法令等の遵守

- ① 医療法をはじめとする関係法令の遵守の徹底を図ります。
- ② 医療人としての行動規範と倫理に関する研修を実施します。

(4) 適正な情報管理と情報公開

- ① 関係法令に基づき個人情報などを適正に管理するとともに、個人情報の保護及び情報公開の必要性に関する職員の意識の向上を図ります。
- ② インターネットを活用して医療公社の業務運営に係る内容を公表するほか、医療に関する情報を患者に向けて積極的に公開します。

(5) 患者サービスの向上

- ① 患者や住民の意見の反映  
「患者さんの声（意見箱）」や他に寄せられた意見を踏まえ、運用の見直しを図ります。
- ② 院内環境の整備
  - ア 院内感染を防止し、院内環境を向上させるため、院内清掃の徹底を図ります。
  - イ 病院施設の改修、補修等を計画的に実施し、療養環境の向上に努めます。
- ③ 職員の接遇向上  
全職員を対象とした接遇に関する研修を継続的に実施します。

Ⅲ 業務運営の適正化及び効率化に向けた施策

1 適正な業務運営

共通の目標に向けた銚子市との協同体制づくり

銚子市と医療公社が目標の共通化と情報の共有化を行い、医療に関する課題に協同して取り組むための合同会議を継続して開催します。

2 効率的かつ効果的な業務運営

**(1) 運営方針に基づく業務の徹底**

医療公社に求められる効率的かつ効果的な運営を実現させるための方針について、研修等を活用して全職員で情報を共有し、業務運営に活かしていきます。

**(2) 効率的な人員配置**

施設基準、経営状況及び各職場の勤務環境を考慮しながら、効率的に人員を配置します。

**(3) 事務職員の職務能力向上**

研修等への参加により経営に関する職務能力の向上に努めるほか、説明責任に対する意識の向上を図ります。

**(4) 診療施設及び医療機器の計画的な整備**

将来を見据えた診療施設及び医療機器の計画的な整備について、銚子市への積極的な提案及び整備計画の策定に参画していきます。

**(5) 収入確保と支出の削減**

① 収入の確保

ア 地域の医療圏の特性を考慮し、適切な病床種別及び病床数による再編計画を立案します。

イ 各診療科の手術を安定的に実施できる体制の整備に努めます。

ウ 各種健診、人間ドック、予防接種等の受入れ体制の充実を図り、健診件数の増加に努めます。

② 支出の削減

ア 医業原価や各種委託費について他の医療機関の情報を収集し、各契約に反映させるほか、見積り合わせを徹底し、経費の削減を図ります。

イ 事業の実施について、その費用対効果等多角的視点から検討する職員の意識の更なる向上を図ります。

#### IV 収支予算

II、IIIに示した施策を実施し、医療公社の収支を次のように見込みます。経常利益の不足額は、銚子市からの財政支援で賄おうとするものです。なお、医業収益は、令和8年6月実施予定の診療報酬改定により、入院及び外来ともに2%の増加を見込んでいます。

	令和8年度
平均入院患者数（一般）	56人
入院単価（円/人日）	50,500円
平均入院患者数（療養）	31人
入院単価（円/人日）	21,500円
平均入院患者数（回復期）	20人
入院単価（円/人日）	30,500円

区 分	令和8年度
平均外来患者数（日）	320人
外来単価（円/人日）	9,000円

（金額単位：百万円）

医業収益	2,229
材料費	485
給与費	1,845
その他経費	597
医業利益	▲698
経常利益	▲690

令和8年度 一般財団法人 銚子市医療公社 収支予算

(単位:千円)

勘定科目	令和8年度(4月-3月)	備 考
入院診療収益	1,463,028	
室料差額	33,403	
外来診療収益	681,256	
保健予防活動収益	47,098	
その他医業収益	10,237	
保険等査定増減	-6,000	
医業収益計	2,229,022	
材料費	485,124	
給料	1,430,623	
賞与	218,972	
法定福利費	178,568	
退職金	16,460	
給与費	1,844,623	
検査委託費	39,134	
給食委託費	85,699	
寝具委託費	8,570	
清掃委託費	30,682	
保守委託費	107,567	
その他委託費	65,345	
委託費	336,997	
減価償却費	6,900	
機器賃借料	20,688	
地代家賃	10,348	
修繕費	7,200	
器機保守料	9,600	
車両関係費	600	
設備関係費	48,436	
研修費	3,873	
福利厚生費	5,004	
旅費交通費	27,726	
職員被服費	12,849	
通信費	3,810	
広告宣伝費	662	
消耗品費	10,786	
消耗器具備品費	3,344	
会議費	0	
水道光熱費	85,673	
保険料	2,488	
交際費	166	
諸会費	1,739	
租税公課	6,043	
招へい費	36,416	
雑費	45	
手数料	3,648	
図書費	783	
その他経費	201,182	
医業費用計	2,927,135	
医業利益	-698,113	
医業外収益	29,058	
医業外費用	21,561	
医業外損益	7,497	
経常利益	-690,616	